

第16期決算公告

2019年6月28日
愛知県名古屋市中区錦一丁目11番20号
株式会社 CLINICAL STUDY SUPPORT
代表取締役 磯村 達也

貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	170,932	流 動 負 債	71,178
現金及び預金	40,806	短期借入金	29,362
受取手形	37,498	未払金	14,932
売掛金	77,994	未払費用	21,156
たな卸資産	13,607	未払法人税等	1,883
前払費用	708	未払消費税等	1,896
立替金	305	預り金	1,948
未収入金	10	固 定 負 債	9,346
固 定 資 産	9,284	長期借入金	9,346
有 形 固 定 資 産	2,686		
建物	2,595	負 債 合 計	80,524
器具及び備品	91		
無 形 固 定 資 産	868	純 資 産 の 部	
ソフトウェア	868	株 主 資 本	99,692
投 資 そ の 他 の 資 産	5,729	資 本 金	53,400
敷金	5,729	利 益 剰 余 金	46,292
		その他利益剰余金	46,292
		繰越利益剰余金	46,292
		純 資 産 合 計	99,692
資 産 合 計	180,216	負 債 ・ 純 資 産 合 計	180,216

重要な会計方針

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1)仕掛品

個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2)貯蔵品

最終仕入原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法によっております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)、並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

3. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

当期純損益金額

当期純利益

7,265千円